

(仮称)子育て総合支援センター設置に向けた教育委員会との連携について

スライド2・3
検討の経過

スライド4～6
現時点の案



令和4年2月
こども未来部

1 子育て・子育て支援をめぐる課題

- 当事者は → どこに相談すればよいのかわかりにくい
- 支援者は → 複雑・多様化する課題に縦割り(分野割り)では対応できない

2 課題解決の方向性

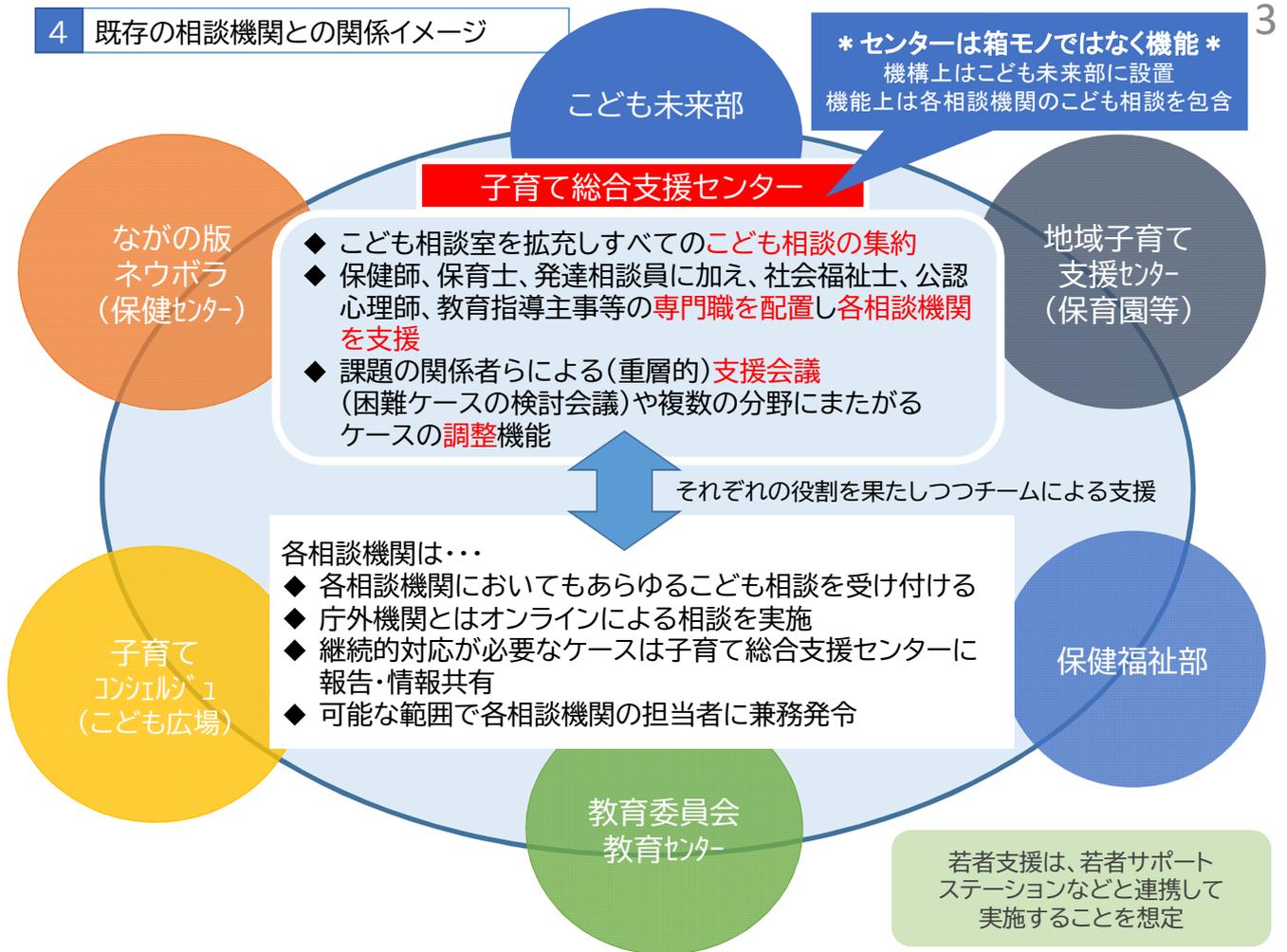
想定される(仮称)ながの子育て総合支援センターの機能		
1	どこに相談しても、集約された相談・支援機能につながる仕組み	ワンストップ
2	どんな相談内容であっても、関係する分野が連携できる仕組み	包括的・総合的

3 子育て総合支援センターのミッション・狙い

ミッション どんな子ども・若者であっても、その人らしく社会での役割や居場所で活躍できるよう相談・支援する機関

- 狙い**
 - ◆相談のしやすさに加え、相談に繋がっていない子どもの掘り起こしと継続的支援を実施
 - ◆コンパクトかつスピーディーをモットーに、チーム支援による横断的連携
 - ◆ひきこもりなどの予防に効果を発揮

4 既存の相談機関との関係イメージ



5 組織の名称について

当センターの使命は、保護者の視点からの「子育て」を支援することはもとより、子ども自身からの悩みや相談にも応じ支援するものであることから、名称を次のとおりとしたい。

子ども総合支援センター

相談専用電話 026-224-9746
(現子ども相談室)

6 職員配置について(こども未来部配置)

業務	職種	人数	職名・資格
管理職			
主に相談に関する業務	正規職員等		
	会計年度任用職員	2	指導主事(教育センター兼務)
主に発達支援に関する業務	発達相談員(心理職等)		
会計年度任用職員			

7 職員配置について(兼務)

組織・職名	人数	所属
指導主事	若干名	学校教育課

今後、関係課を含めて精査する

8 教育センターにおける教育相談について

■ 現行の教育相談における窓口・電話相談の取扱

- ◆ 発達障害、不登校、いじめ、思春期、スクールセクハラなど、子どもや保護者から随時で相談を受け付けている。(来所・電話相談)
- ◆ フリーダイヤル 0120-783-041 あり



■ こども総合支援センターにおける取扱(案)

- ◆ 現行教育センターの教育相談フリーダイヤルを専用ダイヤルとして利用したい。
- ◆ こども全般に関する相談(教育相談を含む)を受け付ける。